

熊 本 子 と も 囲 碁 便 り



No.34 2014. 10. 18

発行：NPO法人

熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174

低学年の部 清田颯暉くん・高学年の部 前田悠仁くん

第4回くらしき吉備真備杯熊本県予選 ○●○○●●

10月5日（日）日本棋院熊本県本部で開催された県代表戦で清田颯暉（さつき）君（東町小2年）と前田悠仁（はると）君（杉上小5年）がそれぞれ優勝しました。大会は低学年と高学年からそれぞれ一人が各県代表として全国大会に出場します。全国大会は12月13日（土）、14日（日）岡山県倉敷市で開催されます。



☆ 清田颯暉くんのコメント ☆

「去年は決勝で負けて悔しかったけれど、今年は優勝できてうれしかったです。全国大会は楽しみです。」

☆ 前田悠仁くんのコメント ☆

「吉備真備杯県予選に出るのは3度目でしたが、今回初めて優勝し代表になることが出来ました。12月の本戦では全国から代表が集まるので、強い子と対局出来るのが楽しみです。残り2か月、精一杯頑張ります。」



低学年決勝戦

左 前田悠仁くん・ 右 高橋慶多くん

写真左 清田颯暉くん・ 右 本田篤律くん

(写真是一次戦)

準優勝・・・ 低学年の部 本田篤律くん(画図小 1年)

高学年の部 水谷勇斗くん(西原小 6年)

くらしき吉備真備杯こども棋聖戦とは・・・中国から囲碁を持ち帰ったと伝えられる吉備真備ゆかりの地である倉敷市真備町で、その偉業を顕彰するとともに、囲碁文化の振興と倉敷市の魅力を全国に発信するために開催する小学生を対象とした全国大会で、平成23年に第1回大会が開催されました。各都道府県を代表する小学生低学年の部48名、小学校高学年の部48名を招待し、「こども棋聖」の称号をかけて競います。今年は第4回になります。

「教えることは難しいけど、囲碁は面白いと思わせることが大切」

学童保育囲碁指導員の交流研修会を開く



今春より、NPO 法人熊本子ども囲碁普及会から、小学校の放課後児童クラブに指導員を派遣して、週 1 回 1 時間程度囲碁を教えるという「囲碁普及モデル事業」をスタートしました。

県内 9 ヲ所の放課後児童クラブから申し出があり、碁盤セットを貸与したり、その地域に住むボランティアの囲碁指導員を派遣し、約 5 ヲ月が経過しました。

今年 2 月にプロ棋士より研修を受けたものの子どもに囲碁を教えるのは初めてという方々ばかりで、特に

小学校低学年の複数（20～30 名）の子どもを対象に教えるのは容易ではなく、どこも試行錯誤、悪戦苦闘の様子です。

そこで約 5 ヲ月経過したところで、囲碁指導員の皆様に集って頂き、お互いの経験や苦労話を出し合っ、今後の指導に活かしていこうという主旨で「学童保育囲碁指導員交流研修会」を去る 9 月 18 日午前 10 時より熊本市託麻囲碁クラブで開催しました。

県内 9 ヲ所の児童クラブで計 24 名の指導員に活動頂いていますが、当日は各クラブを代表した 22 名の方集って頂き、率直な意見が活発に交わされました。

藤堂さん（広安小）「なかなかわかってくれんな～とイライラする時もあつたが、子どもと楽しく遊ぼうと思うことにした」

村上さん（飽田南小）「最初は時間つぶしに来ているのではないかという子もいたが、とにかく楽しく遊ばせることを主眼にしている。19 路盤で打てる子も出てきた」

中村さん（清水小）「行儀が悪いのにあきれている。クラブの先生は関知しようとされない」

吉田さん（桜木東小）「ドリルを使うのが効果が出ている。囲碁以外の話もして子どもの関心を集めている」

坂本さん（向山小）「1 人で 60 名に教えている。ルールも黒板に絵を画いて他のことに例えてわかり易い言葉で話すと子どもも理解する。児童クラブの先生（4 人の保育士）たちの協力も不可欠だ」

井上さん（合志中央小）「40 人の 1, 2 年生を別々に隔週で教えている。5 つのルールを毎回復唱させている。毎回 1 つのことを教え、理解した子どもは大いに誉めている」

牛島さん（白川小）「女性 2 人で 25 名に教えている。興味や強弱に差が出てきた」

西山さん（託麻原小）「3 年生の学童を対象に教えている。3 人の保育士の方も一諸になってやっている。勝ち負けにこだわらないよう、誉めることを大切にしている。対戦カードを使って対局させている」

清田さん（鏡町小）「3 人で 30 名に教えている。マナーを重視している。先生同士の模範対局を見せてから対局させるが、まだまだというところだ」

藤崎さん（阿蘇）「学童保育ではなく、文科省主導の放課後クラブに数校行っているが、年 2 回位の囲碁教室ではなかなか難しい」

以上の様な実態報告や苦労話が出されましたが、参考になるやり方のクラブにはどんどん質問が出され、お互いに学び合う有意義な意見交換となりました。

教え過ぎないこと、大いに誉めてやること、わかり易い言葉やたとえ話しを使うこと、学童保育の先生方との意思疎通が大切であること、碁は面白いと思わせることが一番大切であること等々がまとめの意見となりました。スタートして1年後の来春はどんな状況になっているかとても楽しみです。

頑張っている囲碁指導員の皆様の御苦労が必ず実を結ぶことを信じています。

(NPO 法人副理事長 渡辺利男)

“一新子ども囲碁教室から近況報告です”

9月28日に新町の子ども文化会館で「子ども囲碁教室夏コース」の修了式があり、3ヶ月間隔週の日曜日に参加した12名のうち9名が出席しました。大半の子どもがこれからも囲碁を続けたいと言ってくれました。11名は一新校区外なので、熊本子ども囲碁便りを渡して、各地に囲碁教室があることを知らせました。

次の子ども文化会館の予定は冬コースです。

一新子ども囲碁教室は毎週土曜日の午後開き、16名が参加しています。

一新子ども囲碁教室 毛利秀士



NPO法人熊本子ども囲碁普及会ホームページアドレスです。

身近な大会情報、結果なども載っています。

県内の子ども教室案内もあります！！

または「NPO法人熊本子ども囲碁普及会」から検索して下さい。

<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>



大会の案内.....第3回 南九州子ども囲碁交流大会

日 時：11月16日（日）9：10 受付 9：40 開始

場 所：人吉東西交流センター

参加費：1000円（昼食・参加賞あり） ※13路盤の部もあります。

NPO法人熊本子ども囲碁普及会賛助会員のご協力ありがとうございます。

学童保育囲碁普及事業を当面の目標に活動しています。
一年を経過した皆さまの賛助会員継続をお願い致します。

法人会員

井筒屋化学産業（株）・ 熊本電気鉄道（株）・ 日本郵政グループ労働組合九州地方本部・ ルンビニー幼稚園・ 日本棋院託麻囲碁クラブ支部・ RKKカルチャーセンター・ （株）エム・ティ・エス松本・ （有）草野企画・ 日本棋院玉名支部・ 重光産業（株）・ 熊本ファミリーライフサービス（株）・ 肥銀カード（株）・ （株）三優・ 肥後商事（株）・ （株）熊本銀行・ 熊本空港ビルディング（株）・ 吉永公認会計事務所・ 福田病院・ 株式会社かんぽ生命保険熊本支店・ 全労済熊本県本部・ ましき耳鼻咽喉科クリニック・ 日本棋院人吉球磨支部・ 熊本市内官公庁等囲碁大会事務局・ 熊本母と子の囲碁教室

個人会員

江藤和義・ 後藤斉・ 栗崎一成・ 浅野弘尚・ 高橋邦章・ 河野延夫・ 長田幸基・ 宮崎享・ 松本晴子・ 石渕霧子・ 鎌田聡・ 鳥井郁代・ 吉永茂・ 桑原五夫・ 石川至孝・ 岐部英登・ 川口雄一・ 箕田健生・ 島田万里・ 隈部敏・ 木下弘文・ 野崎照・ 宮川隆二・ 倉田千佳子・ 遠藤倫生・ 浅枝恭子・ 内田直也・ 田口信夫・ 鏡勝夫・ 右山剛・ 加藤年哉・ 塚本清・ 松原晃由・ 村田一信・ 風口英利・ 山城佐知・ 徳尾幸子・ 藤本和美・ 上野剛彦・ 一碁一会会・ 磯田麗子・ 清田義成・ 伊藤弘（千丁町囲碁愛好会会長）・ 河内照美・ 奥園惣幸・ 水谷浩一・ 坂本美加代・ 安田節爾・ 田中信夫・ 前田一精・ 奥村拓司・ 渡邊勉・ 福岡昌継・ 坂口信春・ 坂口仁寿・ 小川道雄・ 大原照久・ 鬼海洋一・ 平野みどり・ 安川俊文・ 西村昭登・ 古家 守・ 新道哲也・ 金枝雅治・ 藤川雅朗・ 湯村フク・ 寺尾敏子・ 大森貞夫・ 前田由美子・ 盛山恒子・ 斉藤恵美子・ 満井浩一・ 坂本昭徳・ 諏訪免力・ 下地朋友・ 下地君代・ 森 俊博・ 田中力男・ 鶴山繁實・ 古賀征生・ 渡辺武・ 加納剛太・ 石塚正司・ 板垣草人・ 駒崎照雄・ 瀬口良三郎・ 畠中直幸・ 畠中忠俊・ 江藤 剛・ 松田 敏・ 後藤修一・ 松尾 孝・ 八塚敬子・ 竹屋純子・ 元田美智子・ 蓑田耕太郎・ 宮川秀樹・ 宮川哲就・ 田坂照夫・ 宮永康男・ 古田 浩・ 江藤 茂・ 江藤由久子・ 西 徳義・ 坂田祇彦・ 岩下 弘・ 芦田 司・ 古庄 剛・ （順不同・敬称略）

編集後記

RKKちびっこタイムでおやこ囲碁交流会（代表 坂本新吾さん）の子どもたちのコメントが紹介され、囲碁の難しいところはとのインタビューに「作戦通りにいかないところ」と答えたこどもがいました。碁盤上で一生懸命考えて作戦を練っているのかなと微笑ましく思いました。11月、12月と大会続きです。たくさん参加して下さい。（西山）